京城日報

昭和十九年八月十日 (木曜日)

テニアン 砲台呼応 (保 持 用)

寡兵、死闘を續行

荒鷲・敵陣、敵艦に猛攻

サイパン

【大本營發表】(八月十日)……

大宮島に百廿機

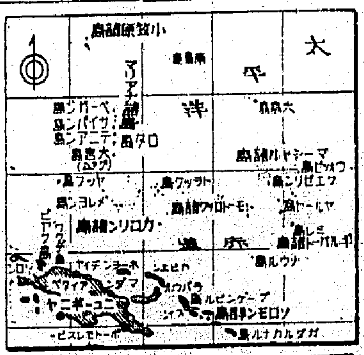
ナウルに五十機來襲

今井侍從武官

飛行機工場視察

信陽附近でB29

全支に十二機屠る



動勞動員援護會を設立

トロール漁業の區域制限緩和

朝鮮行政録音

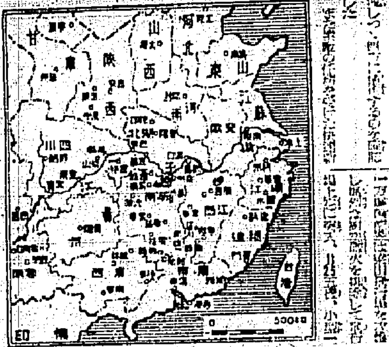
訓示、將兵を激勵する司令官(太平洋〇〇基地)

社説

國民動勞に生き抜け

小磯總督元山へ

咸南、平南兩道を視察



北佛戰線

カーンに猛砲火

米軍も呼應、新攻勢か

英軍戰線整理

海上に敵部隊待機

爆擊機用基地なし

獨潜、船舶二隻擊沈

破片は廿一米に飛散

敵投下爆彈の性能實驗

B29大陸も爆擊と發表

チャーチルも憂慮

敵性宗教家を再收容

比國派遣軍、通敵、謀略に斷

時を稼ぐ地域なし

當然の措置

比國政府聲明

鑛山聯盟理事會

藤原國務相歸京す

強敵

フランス首脳被害

亡國ド・ゴール政權不認か

米海軍損害

駐スペイン米公使歸國

大島大使、兵器工場で激勵

西國近日閣議開催

勝利の機會は我が手中

獨宣傳相必勝の確信を吐露

ゲッベルス宣傳相

國家存亡の戰ひ

物心共に全力を

信念、物資を喫す

前途に西歐決戰

超人、東部の將兵

V一號飛び續く

バルト三國 芬蘭を狙ふか

ソ聯、北佛との協同戰闘なし

森林内に白兵戰

ラエ附近で再び撃退

赤軍兵站線を猛爆

獨軍反撃す

ロシニヤ東方

血戰錄

流星彈再び猛威

對ソ戰には使用せず

赤軍、ビルナ市へ

北部戰、リトアニヤに移る

三百六十億貯蓄

愛國生命

怪我の應急處置に

家庭常備藥

メンソレータム

榮養滿點に肥る菌劑

イースト菌といふ微生物は、各種ビタミン、グルタチオン、エンチーム、ホルモン性物質等を豊富に包含する有用菌で……

胃腸・榮養・賭技

二圓十八錢 五圓七十錢

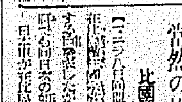
新劑 イーストン 錠劑

胃腸の決勝態勢

通じと健康

試薬星

快通 コーソ



お肌の衛生に

汗かきや水むしで困る

汗ばむお肌にらへんでが效ばれます

氷むし あせも きず 腋臭症

てんへら

病源を除けば絶對健康

惡性慢性の難病に惱む人

血壓高く日夜苦惱する人

虚弱體質で病氣勝ちの人

淨血 殺菌 排毒

發賣 ドラミン

各藥店にあり

敵機はまた來る
反省せよ・備へは完璧か

半島殉職船員公葬
けふ東本願寺京城別院で執行

茶菓子に代り乾パン袋縫ひ

京城第二高女同窓會で奉仕

卑屈化に心せよ
歸宅訓練に分布圖ご班別制
休暇の旅は愼しめ

學童ご待避

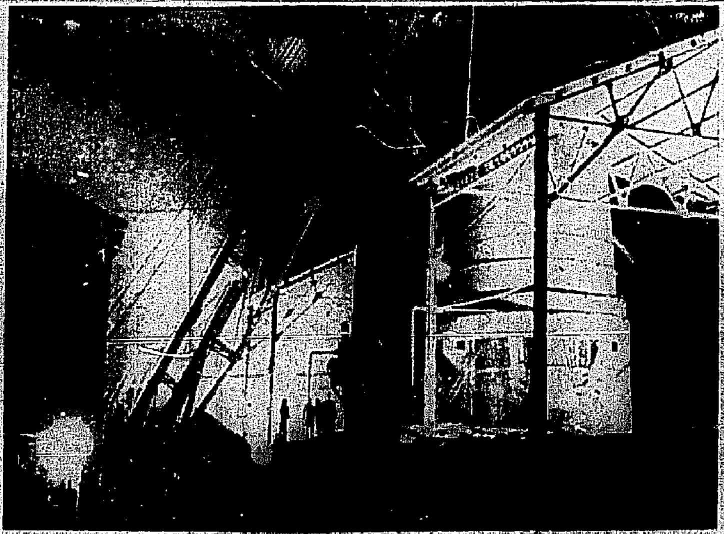
手入れを怠るな
位置は防空活動の便利な所に

待避壕

行學一如の戰列（完）

染みつく土の香り
增產へ解放された肉體の喜び

ロケット米國を狙ふ
英一紙、いやがらせの報道


敵陣に吼える鎔鑛爐

重要な防衛兵器
私事通話で妨ぐな

電話の處置

既に準備あるはず
一人の不注意が生む結果想へ

燈火管制

直にガス閉栓

火氣

任務ある者以外は家を守れ

時と場所と住居の防衛

鼻環や木の葉の擬裝
設營作業に協力

第二回遠泳大會

現株仲値

放送

そこひ目 のんで治せ 家庭治療藥
白ソコヒ・青ソコヒ・紅彩炎
眼科專門書院

求看護婦保健婦　總督府營林局　大倉　貸家と貸家　日滿商事　求寮母補助者　三井生命　求女子事務員　東京保險　職員給仕採用　女子社員急募　工場を求む　朝鮮重穀加工　女子採用　中外鑛業會社　タイピスト採用　求む高級住宅　求工　小店員　賣家　藥典發聲法

支那事變以來戰死せる當社從業員に對する追悼法要を來る七月十一日午後二時より博文寺（奬忠壇）に於て相營み可申候
朝鮮郵船株式會社

食料品

精力增進 綜合强壯劑 ジンセン 參仙錠 參仙莊

三陽公司 京城

擴聲機の本場は國際無線
國際無線電化研究社

紙屑 半島紙源 半島製紙

ノート・便箋・帳簿
其他紙製品・注文に應ず
京城トクラ

齒科 醫學博士 新井明鎭

豐田計理事務所

入院室完備・X光線
醫學博士 李聖鳳小兒科
電光③821

三共產業社

引越と運搬 昭和運搬社

香川弘

張明頭齒科

金本計理事務所

京城三山病院